●登録職種について
医療チームの登録職種は、以下の４つがある。
⑴　医師
⑵　看護師
⑶　薬剤師
⑷　医療調整員（診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士、職種不問）

医療調整員とは、医師、看護師、薬剤師とともにチームを構成し、検査、医療機器管理、リハビリテーションなどにおいて専門性を活かした業務を行うほか、患者の管理、カルテの管理などの医療補助業務や、資機材の管理、チーム生活面の管理などのロジスティクス業務なども行う隊員である。医療分野の活動も期待される医療関係者に加え、医療関連資格のない者もこの職種での登録が可能である。海外の被災地では自給自足型の活動を行うこともあるため、給水や水質管理等の水に関する専門性を持っている者や、配線、電気工事等の電気に関する専門性等を持っている者についても、その専門性を活かした業務などが期待されている。

●導入研修について
仮登録が承認されたものが本登録となるために受講必須の研修で、通常年２回実施されている。導入研修の受講は、事前のｅ－ラーニング受講と、集合型研修全てのカリキュラムへの参加が必須となる。

●本登録について
導入研修後、必要書類を提出し、最終確認後に本登録となる。本登録後は医療チームの派遣候補者として登録され、派遣の際には事務局からの連絡を受け取ることになる。

●研修・訓練について
本登録されたものは、研修・訓練への申込が可能となる。詳細は本登録後に事務局より案内がある。

７．国際緊急援助隊医療チーム登録者に求められる資質

医療チームは、日本政府を代表したチームとして被災国に派遣され、被災地にて被災者の診療に当たるとともに、疾病の感染予防や蔓延防止に関する活動を行う。時には劣悪な環境下での活動を余儀なくされることもあり、通常の環境とは異なる中で、現地の状況に合わせた柔軟な活動を行う必要がある。医療チーム登録者に求められる資質は、主に以下の通りである。

●「被災者を助けたい、役に立ちたい」こころ
●被災国で活動・生活するための体力と工夫
●厳しい環境下でも十分に発揮できる技術
●チームの総合力を高める積極性と協調性
●どこでも寝られる、なんでも食べられる適応力
●コミュニケーションのための語学力と人柄　など

８．おわりに

JDR医療チームとしての経験は、医療従事者のキャリアにおいて、決して他では得ることのできない貴重な財産となる。インフラが崩壊し、圧倒的に資源が不足する極限の環境において、「目の前の命をどう救うか」を徹底的に考え抜き、実践した経験は、医療従事者としての総合力と人間力を飛躍的に高める。また、こうした経験を持つ人材は、日本国内で将来起こり得るとされる南海トラフ巨大地震、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震、首都直下地震などの大規模災害時において、地域の災害医療を牽引する強力なリーダーとなることが期待されている。

そして何より、国境を越え、肌の色や言語の壁、文化の違いを越えて、被災者から向けられる感謝の眼差しや、現地の言葉で伝えられる「ありがとう」の重みは、我々がなぜ医療の道を志したのかという原点と情熱を、強く再認識させてくれるはずである。

※JDRの募集状況や詳細な登録要件、研修のスケジュール等については随時更新される。本稿を読み関心を持たれた方は、必ずJICA公式ホームページ「国際緊急援助隊（JDR）」の特設サイト等の最新の募集要項を確認されたい。

感染症関連情報

感染症に関する情報につきましては、北海道医師会ホームページ「医師の皆様へ－感染症情報」に掲載しています。

ＵＲＬ：http://www.hokkaido.med.or.jp/doctor/infection.html